

臨床福祉専門演習

[演習] 第4学年 通年 必修 2単位

《担当者名》臨床福祉学科全教員

【概要】

3学年「臨床福祉専門演習」を担当した教員のもと、継続して福祉に関する専門的な内容を学修する。教員が示す学修課題と学生が設定する学修課題にあわせて年間の学習計画を定める。そのうえで「関係資料・文献の収集」「調査実施と分析」「先行研究のレビュー」等により学修をすすめ、各自の設定した学修課題を深化させる。授業の具体的な進め方については、各担当教員が提示する。

【学修目標】

福祉に関する専門的事項について深く身に付く。

資料を調べ、批判的視点で資料を解釈することができる。

プレゼンテーションを行い、自分の言葉で専門的な学修内容を表現することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	「臨床福祉専門演習」にて学修した内容の確認及び前期の演習の進め方の確認について	演習を担当する教員
2	演習課題(1)	演習課題に関する検討及び各課題の専門的な知識技能・研究方法について	演習を担当する教員
3	演習課題(2)	演習課題に関する検討及び各課題の専門的な知識技能・研究方法について	演習を担当する教員
4	演習課題(3)	演習課題に関する検討及び各課題の専門的な知識技能・研究方法について	演習を担当する教員
5	演習課題(4)	演習課題に関する検討及び各課題の専門的な知識技能・研究方法について	演習を担当する教員
6	演習課題(5)	担当教員等の示した演習課題に関する検討をとおして、各課題の専門的な知識・技能及び研究方法について学ぶ。	演習を担当する教員
7	演習課題(6)	演習課題に関する検討及び各課題の専門的な知識技能・研究方法について	演習を担当する教員
8	演習課題(7)	演習課題に関する検討及び各課題の専門的な知識技能・研究方法について	演習を担当する教員
9	演習課題(8)	演習課題に関する検討及び各課題の専門的な知識技能・研究方法について	演習を担当する教員
10	演習課題(9)	演習課題に関する検討及び各課題の専門的な知識技能・研究方法について	演習を担当する教員
11	演習課題(10)	演習課題に関する検討及び各課題の専門的な知識技能・研究方法について	演習を担当する教員
12	演習課題(11)	演習課題に関する検討及び各課題の専門的な知識技能・研究方法について	演習を担当する教員
13	演習課題(12)	演習課題に関する検討及び各課題の専門的な知識技能・研究方法について	演習を担当する教員
14	演習課題(13)	演習課題に関する検討及び各課題の専門的な知識技能・研究方法について	演習を担当する教員
15	小括	前期のまとめ	演習を担当する教員
16	演習課題(14)	演習課題を再検討し、学修にむけての計画の再確認について	演習を担当する教員
17	演習課題(15)	学生の演習課題の成果に関する検討(プレゼンテーション・ディスカッション)及び相互理解の深化	演習を担当する教員
18	演習課題(16)	学生の演習課題の成果に関する検討(プレゼンテーシ	演習を担当する教員

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		オン・ディスカッション)及び相互理解の深化	
19	演習課題(17)	学生の演習課題の成果に関する検討(プレゼンテーション・ディスカッション)及び相互理解の深化	演習を担当する教員
20	演習課題(18)	学生の演習課題の成果に関する検討(プレゼンテーション・ディスカッション)及び相互理解の深化	演習を担当する教員
21	演習課題(19)	学生の演習課題の成果に関する検討(プレゼンテーション・ディスカッション)及び相互理解の深化	演習を担当する教員
22	演習課題(20)	学生の演習課題の成果に関する検討(プレゼンテーション・ディスカッション)及び相互理解の深化	演習を担当する教員
23	演習課題(21)	学生の演習課題の成果に関する検討(プレゼンテーション・ディスカッション)及び相互理解の深化	演習を担当する教員
24	演習課題(22)	学生の演習課題の成果に関する検討(プレゼンテーション・ディスカッション)及び相互理解の深化	演習を担当する教員
25	演習課題(23)	学生の演習課題の成果に関する検討(プレゼンテーション・ディスカッション)及び相互理解の深化	演習を担当する教員
26	演習課題(24)	学生の演習課題の成果に関する検討(プレゼンテーション・ディスカッション)及び相互理解の深化	演習を担当する教員
27	演習課題(25)	学生の演習課題の成果に関する検討(プレゼンテーション・ディスカッション)及び相互理解の深化	演習を担当する教員
28	演習課題(26)	学生の演習課題の成果に関する検討(プレゼンテーション・ディスカッション)及び相互理解の深化	演習を担当する教員
29	演習課題(27)	学生の演習課題の成果に関する検討(プレゼンテーション・ディスカッション)及び相互理解の深化	演習を担当する教員
30	総括	演習のまとめ	演習を担当する教員

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

演習課題や個人の学修への取り組みの状況(50%)やプレゼンテーションの内容(50%)により総合的に評価する。

【教科書】

担当教員が必要に応じて提示する。

【参考書】

担当教員が必要に応じて提示する。

【学修の準備】

社会福祉研究法で学んだスキルにもとづき、研究レベルで展開するために必要な事前の学修の準備が求められる。課題を設定し、分析し、まとめ、問題解決をする力を身につけるために、課題に関連する論文の読解、課題に関する考察に取り組むこと。

予習：毎回、授業時に提示する内容に取り組むこと(80分間)。復習：毎回、授業時に提示する課題に取り組むこと(80分間)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3,4,5